

高圧ガス設備等耐震設計指針(2012)
レベル2耐震性能評価 解説編(平成24年7月6日発行)
正 誤 表

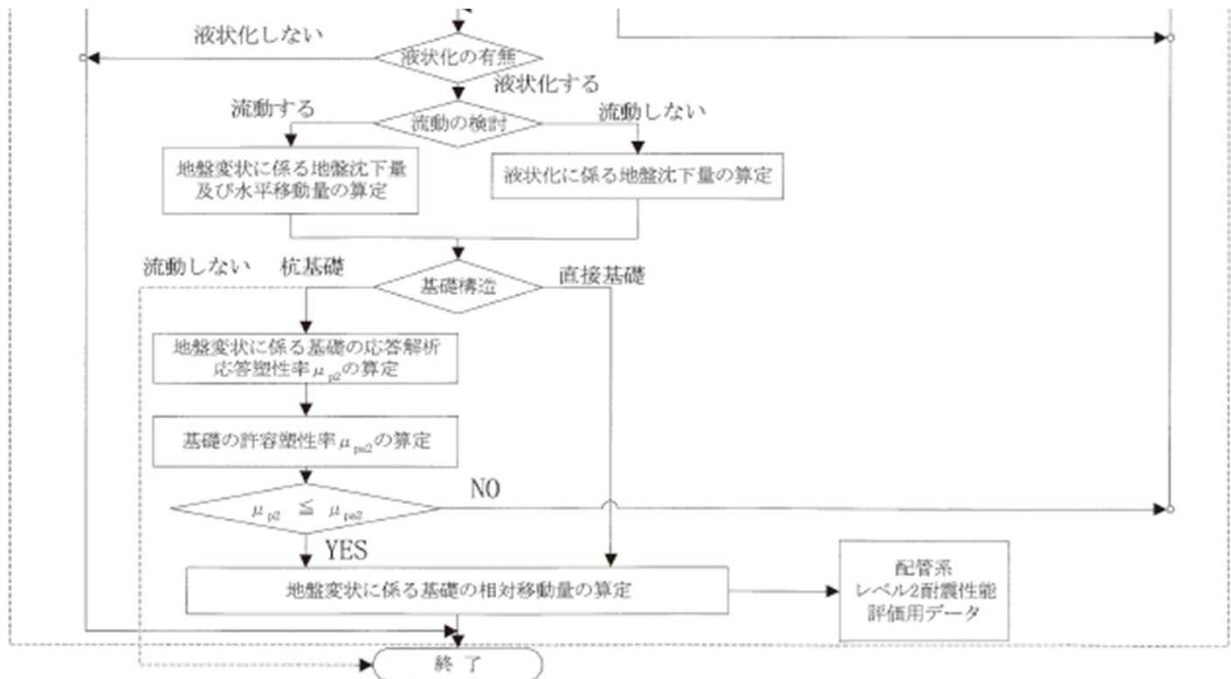
※ 今回の正誤表作成にあたっては、誤植、引用誤り、計算誤り等を修正するものであって、本質的な内容変更とはなっておりません。

※ 下表に係る正誤表は、主な修正を示しており、すべては網羅しておりません。そのため、「高圧ガス設備等耐震設計指針(2012)レベル2耐震性能評価 解説編(平成24年7月6日発行)」を所有されているご購入者様におかれましては、「高圧ガス設備等耐震設計指針(2012)レベル2耐震性能評価 解説編 改訂新版(平成27年10月20日発行)」にて最終的な確認をお願いいたします。

ページ数など	正	誤
P49 [8.4.2.3](2)① τ_{BE}	$\tau_{BE} = \frac{F_H + 0.2F_V}{nA_b}$	$\tau_{BE} = \frac{F + 0.2F_V}{nA_b}$
P62 表9.2-1	塑性ひずみ全振幅4%	塑性ひずみ片振幅2%
P62 [9.2.4.1](1)	…許容角度 θ_a は、最大相当塑性ひずみ全振幅4% (片振幅2%) に・・・	…許容角度 θ_a は、最大相当塑性ひずみ片振幅2%に・・・
P142 [8.4.2.3](2)① τ_{BE}	$\tau_{BE} = \frac{F_H + 0.2F_V}{nA_b}$	$\tau_{BE} = \frac{F + 0.2F_V}{nA_b}$
P184 [9.2.4.1](1)	最大相当塑性ひずみ全振幅4% (片振幅2%) に・・・	最大相当塑性ひずみ片振幅2%に・・・
P184 (1)曲がり管の損傷モードに係る評価	…曲がり部の許容相当塑性ひずみを片振幅2%として許容角度変位を…	…曲がり部の許容相当塑性ひずみを2%として許容角度変位を…
P185 上から11行目	…許容相当塑性ひずみを片振幅2%とし、地盤変状に係わる耐震性能評価では許容相当塑性ひずみを5%としている。	…許容相当塑性ひずみを2%とし、地盤変状に係わる耐震性能評価では許容相当塑性ひずみを5%としている。
P187 (1)耐震性能評価手順	…管からの荷重に対して高圧ガスの気密性保持である。…	…管からの荷重に対して高圧ガスの機密性保持である。…
P191 表9.2.4(3) 項目番号1中の応力の種類の欄	1次局部膜応力強さ及び1次曲げ応力強さ	1次局部膜応力強さ (P_L)
P191 表9.2.4(3) 項目番号2中の応力の種類の欄	…サイクルにおける最大値と最小値との差	…サイクルにおける最大値と最小値との差 ($P_L + P_b + Q$)
P225 上から10行目	…許容応力度を用いた耐震性能評価を行う。なお、エネルギー法および代替評価法を適用する場合には、…	…許容応力度を用いた耐震性能評価を行う。なお、エネルギー法および代替設計法を適用する場合には、…
P226 [図10.1.1(1)]	別図1のとおり	別図2のとおり
P244 上から2行目	液状化が生じると推定される層のN値と、[式10.2.2(16)]から求めた護岸の…	液状化が生じると推定される層のN値と、[式10.2.2(3)]から求めた護岸の…
P244 [手順2：流動範囲の推定] (N_{1av})	…に換算したN値であり、前述の[式10.2-11]で定義される値とする。	…に換算したN値であり、前述の[式10.2.2(9)]で定義される値とする。
P250 枠外の2行目	…塑性変形を許容しつつ、上載構造物の気密性は保たれるよう…	…塑性変形を許容しつつ、上載構造物の機密性は保たれるよう…
P256 下から3行目	…エネルギー吸収性から設定される。[10.4.1.4]で扱われる地盤変状による基礎の…	…エネルギー吸収性から設定される。[10.4.1.2]で扱われる地盤変状による基礎の…
P257 表10.3.3(1) 検討項目	ペDESTAL	ペDESTAIL
P265 下から3行目	B1、B2：基礎フーチング及び群杭の基礎幅 ([図10.4.1(6)]参照)	B1、B2：基礎フーチング及び群杭の基礎幅

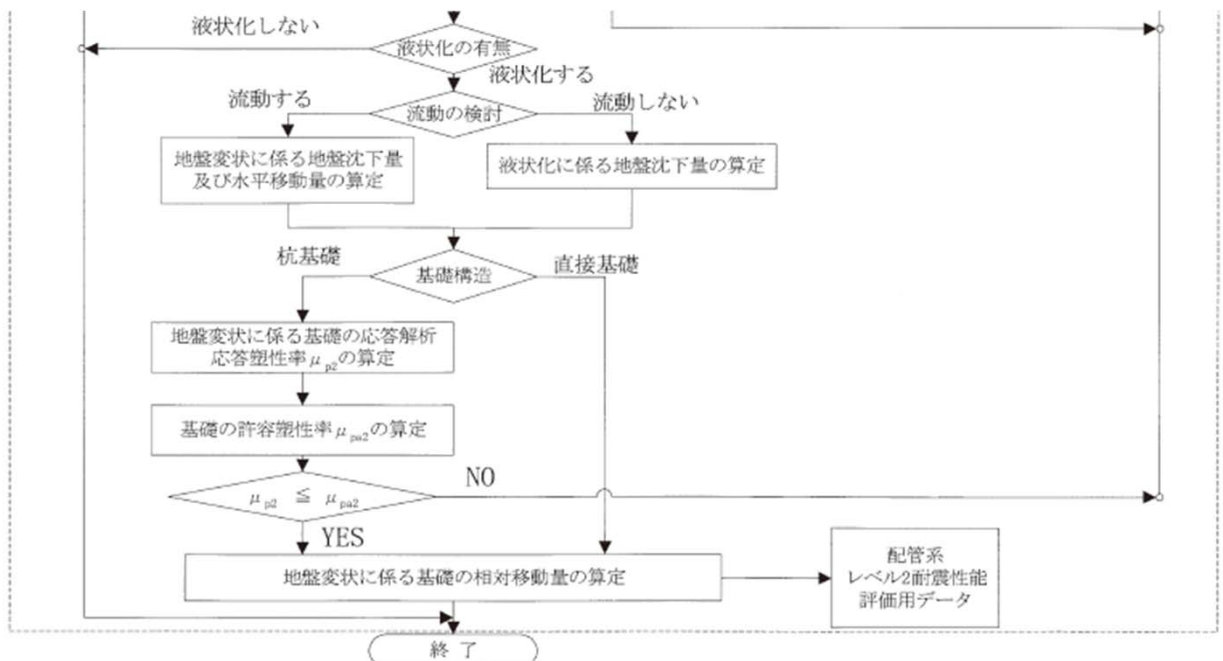
ページ数など	正	誤
P265 下から2行目	β : 流動地盤における地盤ばねの低減係数	β : 流動地盤における地盤ばねの低減係数 ([図10.4.1(6)]参照)
P271 2) 7行目	$f(H_{nl}/D) = 14.00 \left[\frac{1}{(H_{nl}/D)} \right]^2 + 0.03 \quad (H_{nl}/D > 3.8 \text{ のとき})$ $f(H_{nl}/D) = 14.00 \left[\frac{1}{(H_{nl}/D)} \right]^2 + 0.03 \quad (H_{nl}/D \leq 3.8 \text{ のとき})$	

別図1



【図 10.1.1(1)】 基礎及び地盤のレベル2耐震性能評価手順

別図2



【図 10.1.1(1)】 基礎及び地盤のレベル2耐震性能評価手順